

参 考 資 料 4

- 『運動器の10年』世界運動
- 大腿骨頸部骨折・定点観測平成11, 12年発生分
調査結果(日整会骨粗鬆症委員会報告)

『運動器の10年』世界運動

～運動器障害の克服を目指す～

健やかな人生を求めて



『運動器の10年』世界運動

『運動器の10年』世界宣言(2002.9.13 リオデジャネイロ宣言)

1. 運動器の障害は、長期的で深刻な痛みや身体の機能障害をもたらす大きな原因であり、人々の充実した生活を阻害し、経済的・精神的負担を与えている
1. 運動器の障害は、リウマチや変形性関節症による関節病、骨粗鬆症、腰痛と脊椎脊髄病、子供の骨・関節障害、交通事故、労働災害、スポーツによる運動器外傷などがあり、世界の国々のあらゆる年齢の人々に苦痛を与えている
1. 運動器の障害は、社会の労働力を低下させ、健康の保持や地域の支援体制整備のために膨大な経費を要して、社会的・経済的に大きな損失を与えている
1. 運動器の障害は、世界の人々の平均年齢が高くなるにつれて、骨粗鬆症とそれに伴う骨折、脊椎病、変形性関節症が増加し、その治療費を増大させる
1. 運動器の疾患と障害の克服について全世界的な取り組みを行うことを国連事務総長とWHOおよび43カ国が切望している

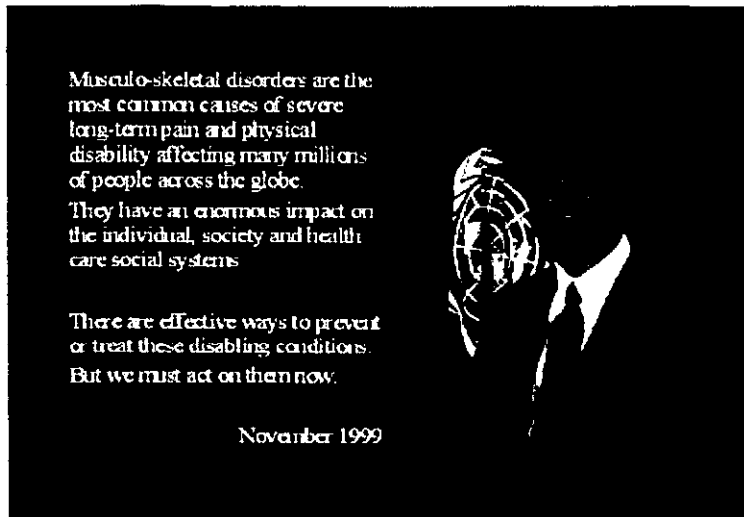
今こそ、運動器障害の難題に挑戦し、世界中の総力を結集し、予防と治療の最新の情報・知識を高めていく時である。

ここに私達は、『運動器の10年活動』に集う世界各国が固い決意のもとに署名し、下記の項目に向かってお互いの協調を深め、共に行動することを宣言する。

- 1) 各国政府をととして2000-2010年の10年を『運動器の10年』と表明する
- 2) 運動器の障害が社会に大きい負担をもたらしつつあることを人々に喚起する
- 3) 運動器の障害を持つ人々やその家族が自らの健康管理に参加し、健やかさを保つことが出来るよう支援する
- 4) 運動器の障害に対して真に有効な予防と治療を推進する
- 5) 運動器の障害を解明し、予防と治療そして完治させる研究を深める
- 6) 運動器の障害のケアに携わる専門職業人の教育・研修を普及する
- 7) これらの事柄を達成するために、政府機関、非政府機関、学術機関、企業、メディアの相互連携を推進する

『運動器の10年』世界運動

「運動器の10年：2000-2010 (The Bone and Joint Decade)」は、1998年スウェーデン・ルンド大学リドグレン教授が提唱し、1999年アナン国連事務総長が支持を表明、2001年WHOにより正式に発足が宣言され、現在世界の90ヵ国750を超える学会・団体が参加して世界宣言（表紙参照）目標達成に向けて運動を展開している。高齢化の進む日本ではBone and Jointを『運動器』と訳して、子供から高齢者までのすべての人々の健やかな生活と自立と尊厳の確立に向けて幅広い領域が一緒に活動を行っている。米国ではブッシュ大統領もこの活動を支持する声明文を出しており、活発な活動が展開されている。



アナン国連事務総長の声明：世界のあらゆる国の人々が運動器の障害に苦しんでいる。それは個人だけでなく、社会にとって大きな課題である。今こそ、効果的な予防と治療の開発に挑む時期である。

『運動器の10年』世界参加国・地域（下線の国…政府が支持を表明している国）

ヨーロッパ(33カ国)

スウェーデン、スイス、英国、フランス、オランダ、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、ドイツ、アイルランド、フィンランド、エストニア、リトアニア、ロシア、チェコ、スロバキア、ブルガリア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、オーストリア、イタリア、ポルトガル、スペイン、ギリシャ、ヴァチカン市国、…等

アメリカ(23カ国)

米国、カナダ、メキシコ、ヴェネズエラ、ブラジル、チリ、エクアドル、キューバ、ハイチ、グアテマラ、ペルー、コロンビア、ウルグアイ、アルゼンチン、ジョージア…等

アフリカ(10カ国)

アルジェリア、エジプト、モロッコ、タンザニア、チュニジア、南アフリカ、コンゴ、ナイジェリア、ケニア…等

アジア・太平洋(26カ国・地域)

日本、韓国、中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、インド、パキスタン、サウジアラビア、クウェート、イラン、オマーン、レバノン、イスラエル、ヨルダン、ニュージーランド、オーストラリア、バングラディッシュ、トルコ…等

『運動器の10年』日本委員会の活動

『運動器の10年』日本委員会（委員長：杉岡洋一九州労災病院院長）は、「運動器の10年：2000-2010 (The Bone and Joint Decade)」世界運動の世界宣言で謳われている7つの目標を達成するための活動を展開している。「運動器フォーラム」、「市民公開講座」、「市民との対話集会」などを通して、広く一般市民に分かりやすく、体をうごかす骨、関節、筋肉等の運動器が人の健康における意義や運動器障害の治療や予防について啓発活動を行い、市民が年代に拘らず自らの健康を自らが守り、健やかに生きることの知識を修得し

てもらふ活動を毎年行なっていく。そのためにもできるだけ早く政府・行政の方のご支援もお願いする。

『運動器の10年』日本委員会運営委員会

『運動器の10年』日本委員会に、『運動器の10年』運動を推進する基本方針決定・準備・運営及び関連諸行事を行うため、『運動器の10年』日本委員会運営委員会を設置している。

WHO『運動器の10年』キャンペーンシンポジウム

平成14年3月18日に骨や関節など運動器にかかわる病気の制圧を目指す世界運動の一環として、WHO『運動器の10年』キャンペーンシンポジウムをよみうりホール東京で開催。

プログラム：第一部 「21世紀の活力ある社会は『運動器』の健康とともに」
第二部 「いつまでも若々しい体の動きを」

運動器フォーラム2002

平成14年10月19日・20日、明治神宮会館にて運動器フォーラム2002を開催した。

第1日目：「運動器の10年世界宣言」と有名人を交えて運動器の意義と役割を分かりやすく説明
運動器トライアルわーど（楽しいスポーツ、子供も楽しめるイベントなど）

第2日目：市民講座「骨粗鬆症と高齢者の骨折」、「老化への挑戦（運動器とリハビリテーション）」、「関節の痛み（関節症とリウマチ）」、「腰痛の予防と治療」、「成長期のスポーツ障害とその予防」
運動器相談コーナー（専門医による医療相談）、運動器トライアルわーど

運動器フォーラム2003

(1)「運動器フォーラム2003・仙台」 平成15年10月11日（土曜日） 仙台市民会館

(2)「健康づくり悠々トーク in 大阪」 平成15年10月18日（土曜日） 大阪NHKホール

いろいろな機会に市民公開講座を開催し、市民の方々に啓発活動を広く実施します。

運動器とは： 健やかな生活を営むための身体の器官

運動器とは、身体活動を担っている筋・骨格・神経系の総称です。循環器、呼吸器、泌尿器などがそれぞれに独自の役割を持っているのと同様に、運動器は、「筋肉、腱、靭帯、骨、関節、軟骨、脊椎・脊髄、神経などがお互いに連動して作用することで身体を動かす」という役割を担っています。

運動器だけが自分の意志で動かすことのできる唯一の器官です。他の臓器や器官は生存には必須ですが、自分の意志で自在にコントロールできません。人は運動器をうまく活用して立ち、歩いて行動することから始め、次第にその能力を開発し、文明や文化を発展させて、霊長になりました。

運動器による身体活動を介して人は生活や社会活動を行っています。動作やしぐさなどの身体活動はコミュニケーションにとっても重要です。運動器を巧みに操れない状態（運動障害）になると、極めて不自由であり、意気込みや精神性までも失われがちです。時には運動器の一部の機能を失うこともあります。しかし、残された運動能力を存分に発揮して活躍している人の姿は見事で美しく、賞賛に値します。逆に、五体満足にみえても、運動器の機能を存分に発揮することなくただただと生きている姿は、実に頼りないものです。運動器の活用の度合いがその人の精神性や社会活動に大きく影響しています。人の生活と尊厳に直結しています。

これまでの医学や医療は、生命を長らえることが主な関心事で、運動器の意義についてはあまり注目されてきませんでした。運動器のけがや病気は、個人的な出来事として見過ごされてきましたが、しかし、個人的な不自由が積み重なると、社会的な損失は膨大です。米国では25兆円を超える社会的損失であると試算

されており、我が国も人口比で換算すると、12兆円の損失になります。また長命になったものの、健康寿命こそが大切であることが認識され、健やかに過ごす為にも運動器を保全し、生活習慣病を減少することが話題になっています。

しかし、人の運動器は未だ発展途上にあります。決して完成された状態には至っていません。僅かな疲労や負担で運動器は容易に破綻して痛みを生じ、機能不全となります。しかし、この原因、予防、治療については十分な解明が進んでいないのが実情です。そのなかで、世の中は便利さを求めつつ非常な速度で進んでいます。便利な世の中は有り難いのですが、運動器を使う機会が少なくなっており、運動器を退化させています。そして、生活習慣病的要素が強い糖尿病や循環器病など内科的な病気を増加させます。21世紀は運動器を活用し、健やかに暮らしたいものです。

高齢になると誰でも運動器の意義がよく理解できますがしかし、子供の頃から運動器の役割を理解することこそが必要なのです。身体を整えて自分の魂を磨き、長い人生を健やかに、充実感を持って過ごすことが人生の目標なのかもしれません。

今や、個人の自立と尊厳を尊び、生活・人生の質(QOL)の向上を目指すには、健やかな運動器を保ち、向上させることが、個人のみならず社会の課題です。ここに「運動器の10年活動」の意義があることをご理解ください。

日本委員会参加団体・組織 医療関係 46団体(五十音順)

関東整形災害外科学会	硬組織生物学会	中国・四国整形外科学会
中部整形外科災害外科学会	東北整形災害外科学会	西日本整形・災害外科学会
日本足の外科学会	日本運動器移植・再生医学研究会	日本肩関節学会
日本関節鏡学会	日本義肢装具学会	日本靴医学会
日本形成外科学会	日本結合組織学会	日本股関節学会
日本骨・関節感染症研究会	日本骨形態計測学会	日本骨折治療学会
日本骨粗鬆症学会	日本骨代謝学会	日本作業療法士協会
日本小児整形外科学会	日本人工関節学会	日本整形外科学会
日本整形外科スポーツ医学会	日本脊髄障害医学会	日本脊椎脊髄病学会
日本創外固定・骨延長学会	日本側彎症学会	日本手の外科学会
日本軟骨代謝学会	日本バイオマテリアル学会	日本膝関節学会
日本マイクロサージャリー学会	日本腰痛学会	日本リウマチ学会
日本リウマチ・関節外科学会	日本理学診療医学会	日本理学療法士協会
日本リハビリテーション医学会	日本臨床整形外科医会	日本臨床バイオメカニクス学会
日本臨床リウマチ学会	脳性麻痺の外科研究会	東日本整形災害外科学会
北海道整形災害外科学会		

日本委員会参加団体・組織 スポーツ関係 5団体

日本体育協会	世界少年野球推進財団	日本高等学校野球連盟
全国高等学校体育連盟	日本中学校体育連盟	

ホームページアドレス： (日本) <http://www.bjdiapan.org/>

(スウェーデン本部) <http://www.boneandjointdecade.org>



『運動器の10年』日本委員会

〒113-8418 東京都文京区本郷2-40-8

社団法人 日本整形外科学会内

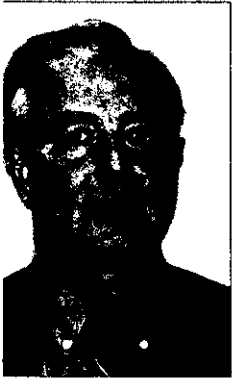
TEL: (03) 3816-3671

FAX: (03) 3818-2337

E-mail: office@joa.or.jp : kouga@joa.or.jp

BONE AND JOINT DECADE 2000–2010

FOR THE PREVENTION AND TREATMENT OF MUSCULOSKELETAL DISORDERS



Letter from the Chairman

Never before have so many organisations joined together to begin to work collaboratively to improve the health-related quality of life for people with musculoskeletal disorders around the world. When United Nations Secretary General, Kofi Annan, declared support in November 1999 for the Bone and Joint Decade 2000–2010, national governments, professional societies, patient organisations, institutions, and industry were inspired to see their role in defining and working toward a united vision of appropriate prevention and treatment of the pervasive and crippling disorders of joint diseases, osteoporosis, back pain and spine disorders, and musculoskeletal trauma.

The Bone and Joint Decade is an umbrella initiative designed to increase support for and connect the actions of musculoskeletal-related organisations into a unified movement to:

- Raise awareness of the growing burden of musculoskeletal disorders on society
- Empower patients to participate in their own care
- Promote cost-effective prevention and treatment
- Advance understanding of musculoskeletal disorders through research to improve prevention and treatment

In every community in every nation, musculoskeletal disorders are increasing. Yet science and research investment have not kept up with the increasing burden on individuals, families and societies. The Bone and Joint Decade is intended to call global attention to and promote positive actions to combat these disorders.

Your help is important in the Bone and Joint Decade. We invite you to get involved with your professional society and patient organisation. Only by working together can we turn the tide and build a brighter future for the 400 million people affected by musculoskeletal disorders.

Lars Lidgren

Professor Lars Lidgren, MD, PhD
Chairman, International Steering Committee

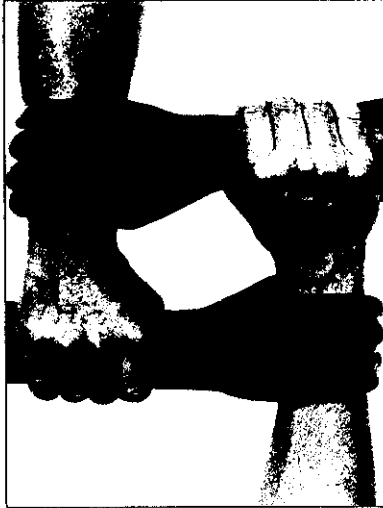


www.boneandjointdecade.org

BONE AND JOINT DECADE 2000–2010

FOR THE PREVENTION AND TREATMENT OF MUSCULOSKELETAL DISORDERS

"The mission of the Bone and Joint Decade is to improve the health-related quality of life for people with musculoskeletal disorders worldwide. The initiative provides the umbrella organisation through which professional organisations, patient advocacy groups, governments, industry and researchers are partnering to effect change. The goals are to raise awareness, empower patients, promote cost-effective prevention and treatment, and advance understanding through research and education."



"Reaching out and working together are the foundation of the Bone and Joint Decade."

CONTENTS

1. Letter from the Chairman
2. Contents of Booklet
3. Facts about Musculoskeletal Disorders
4. Mission and Goals
5. Beginnings
6. Progress Highlights: Communications
11. Progress Highlights: Promoting Musculoskeletal Research
13. Progress Highlights: Partnerships
15. National Action Networks
16. Participating Organisations
21. How To Get Involved
22. Partners and Contributors
24. Bone and Joint Decade International Steering Committee



BONE AND JOINT DECADE 2000–2010

FOR THE PREVENTION AND TREATMENT OF MUSCULOSKELETAL DISORDERS

FACTS ABOUT MUSCULOSKELETAL DISORDERS

The facts are surprising. Did you know . . .

- **Joint Diseases**, the leading cause of *disability* in the United States,¹ account for half of all chronic conditions in persons age 65 and over.
- It is estimated that the number of people in the U.S. affected by **arthritis** or rheumatism will skyrocket from 43 million to *epidemic proportions* of 60 million people by the year 2020.²
- **Osteoarthritis** is the 4th most frequent predicted cause of health problems worldwide in women and the 8th in men.³
- **Back pain** is the *second leading cause of work place sick leave*.
- Fractures related to **osteoporosis** have almost *doubled in number* in the last decade. One in three women over age 50 will suffer a fracture caused by **osteoporosis**.
- The frequency of global hip fractures from **osteoporosis** will *double* in Asia and Latin America in the coming decades.⁴
- **Musculoskeletal conditions** were the *most expensive disease* category in a Swedish cost of illness study, representing one fourth of the total cost of illness.⁵
- In five short years, the economic impact of **musculoskeletal conditions** in the U.S. rose from \$215 billion to \$254 billion – an increase of 18.1%.⁶
- Several hundred million people worldwide already suffer from **bone and joint diseases**, and this figure is set to increase sharply due to the predicted doubling in numbers of people over age 50 by the year 2020.
- **Every 30 seconds** someone dies from an accident on the world's roads.
- Every year 23-34 million people worldwide are injured in **road traffic accidents**.⁷
- *Twenty five percent of health expenditure* of developing countries will be spent on **trauma-related care** by the year 2010.
- **Road traffic accidents** are the *leading cause of death and hospital admission* for people under age 45.

The Bone and Joint Decade is dedicated to reversing these trends, and thereby improve the health-related quality of life for people with musculoskeletal disorders worldwide.

SOURCE:

1. U.S. Centers for Disease Control & Prevention. *Prevalence of disability and associated health conditions –US, 1991-1992*. MMWR 1994; 43(40): 730-731, 737-739.
2. CDC. *Arthritis prevalence and activity limitations – United States, 1990*. MMWR: 1994 43(24): 433-8.
3. Murray JL, Lopez AD, eds. *The global burden of disease: a comprehensive assessment of mortality and disability from diseases, injuries and risk factors in 1990 and projected to 2020*. Cambridge, MA: Harvard University Press, 1996.
4. International Osteoporosis Foundation: Fact Sheet.
5. Jacobson L, Lindgren B. *Vad kostar sjukdomarna?* [What are the costs of illness?] Stockholm: Socialstyrelsen (National Board of Health and Welfare), 1996.
6. Praemer, Furner and Rice. *Musculoskeletal conditions in the United States*, 1999.
7. Crowthorne, B. Estimating global road fatalities. Transport Research Laboratory, 2000. TRL Report 445.

www.boneandjointdecade.org



“Musculoskeletal disorders are the most common causes of severe long-term pain and physical disability affecting many millions of people across the globe. They have an enormous impact on the individual, society and health care social systems. There are effective ways to prevent or treat these disabling conditions. But we must act on them now.”

– KOFI ANNAN
Secretary-General,
The United Nations



BONE AND JOINT DECADE 2000-2010

FOR THE PREVENTION AND TREATMENT OF MUSCULOSKELETAL DISORDERS

MISSION AND GOALS

The mission of the Bone and Joint Decade is to improve the health-related quality of life for people affected by musculoskeletal disorders worldwide. Musculoskeletal disorders include five target areas:

- Joint diseases, such as osteoarthritis, rheumatoid arthritis and more than 100 other forms of inflammatory conditions
- Osteoporosis
- Back pain and spine disorders
- Childhood musculoskeletal disorders, such as juvenile arthritis
- Musculoskeletal trauma from road traffic injuries

While there are many types of musculoskeletal conditions, these disorders are the most notorious and pervasive causes of severe long-term pain and physical disability, affecting hundreds of millions of people across the world. The Decade aims to raise awareness, promote positive actions to combat the suffering, and minimize costs to society associated with these musculoskeletal disorders.

The mission will be achieved by:

- **Raising awareness** of the growing burden of musculoskeletal disorders on society
- **Empowering patients** to participate in their own care
- Promoting cost-effective **prevention and treatment**
- **Advancing** understanding of musculoskeletal disorders through **research** to improve prevention and treatment

No one single organisation alone can accomplish the desired benefits for the person or family affected by these disorders. The Decade is a multi-disciplinary, collaborative, global campaign that will implement and promote initiatives in many parts of the world. The initiatives will be developed in partnership with appropriate patient, professional and scientific organisations, companies, healthcare providers, governments and non-government organisations in consultation with global and regional stakeholders.



"His Holiness Pope John Paul II sends his warm greetings to all involved in this initiative to discover and make available even more effective remedies and treatments for such disorders, to bring the benefits of advanced medical science to more and more people afflicted by these diseases. (Evangelium vitae, 26)."

POPE JOHN PAUL II
The Vatican



German folk art portraying osteoporosis through the lifespan.



www.boneandjointdecade.org